

磐田市議会
令和3年度 議会報告会
実施報告書



目次

1	議会報告会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 実施目的	
	(2) 実施内容	
	(3) 報告テーマと担当委員会等	
2	実施結果・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	・映像視聴数	
3	アンケート集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	・問1～問3	
	・議会報告会についての感想、ご意見	
	・市議会に対してのご質問、ご意見	
4	議会報告会をふりかえって・・・・・・・・	19
	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・	21

1 議会報告会の概要

(1) 実施目的

磐田市議会では、市民に開かれた議会をめざし、平成24年度より議会報告会を開催しています。

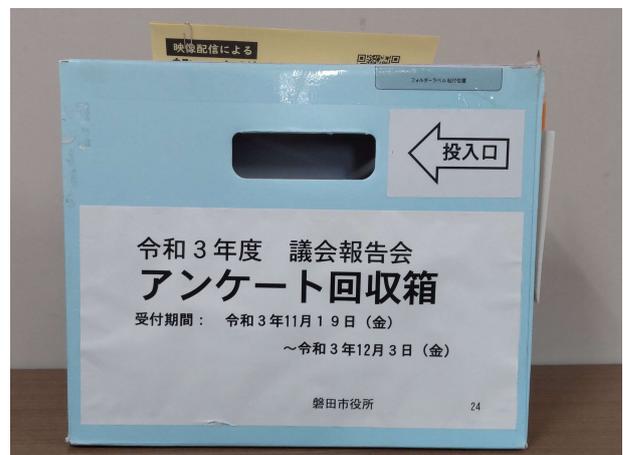
これまで交流センターなどの会場で開催していましたが、令和3年度も令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会場での開催を取り止め、感染拡大防止のため「映像配信による議会報告会」といたしました。

(2) 実施内容

実施項目	期間	方法
映像配信	11月19日（金）～	・議会ホームページ上に掲載
資料掲載、 配置	11月19日（金）～ 12月3日（金）	・議会ホームページ上に掲載 ・市役所本庁舎、4支所、23交流センターの計28施設に配置
アンケート	11月19日（金）～ 12月3日（金）	○用紙による方法 〔用紙の配布〕 ・全戸配布と併せて本庁舎、4支所、23交流センターに配置 〔回収方法〕 ・本庁舎、4支所、23交流センターに回収箱を配置 ・FAX ○議会ホームページによる方法 ・議会ホームページに回答フォームを掲載



議会報告会資料



アンケート回収箱

(3) 報告テーマと担当委員会等

議長 寺田幹根 副議長 松野正比呂

◎委員長 ○副委員長

No.	報告テーマ	担当委員会等	映像時間
1	議会の災害等対策 ・平常時の備え ・災害等発生時の体制 ・新型コロナウイルス感染症への対応	議長 広報広聴委員会	6' 01
2	予算決算委員会からの報告 ・予算・決算のしくみ ・令和2年度決算の概要	予算決算委員会 ◎岡 實 ○高梨俊弘 及び議長を除く全議員	10' 00
3	総務委員会からの報告 ・総務委員会について ・所管事務調査「災害等対策について」 ・今後の取り組みについて	総務委員会 ◎小池和広 ○戸塚邦彦 柏木 健 本間昭男 八木義弘 虫生時彦 松野正比呂 根津康広 岡 實	5' 21
4	民生教育委員会からの報告 ・学校教育・学校運営について 「GIGA スクール構想下の取組について」 ・高齢社会における介護・医療費の抑制策について	民生教育委員会 ◎秋山勝則 ○小栗宏之 加藤公人 鈴木弥栄子 小柳貴臣 加藤文重 鈴木喜文 高梨俊弘	4' 54
5	建設産業委員会からの報告 ・建設産業委員会について ・所管事務調査 ○産業振興計画について ○キャッシュレス社会への対応について ○脱炭素社会に向けての取組・支援について	建設産業委員会 ◎芥川栄人 ○江塚 学 平田直巳 山下千賀子 鈴木正人 鳥居節夫 永田隆幸 芦川和美	8' 08
6	特別委員会からの報告 ・目的と検討項目 ・議論の経過 ・提言のまとめ	磐田市総合計画特別委員会 ◎松野正比呂 ○芦川和美 及び議長を除く全議員	6' 44

■映像作成の担当：広報広聴委員会

◎委員長 ○副委員長

項目	担当
開催挨拶	◎虫生時彦
閉会挨拶 手話通訳録画	○鳥居節夫
報告音声 (ナレーション)	八木義弘 小栗宏之 江塚 学 芥川栄人 根津康広

2 実施結果

○ 映像視聴数

期間：11月19日（金）から12月3日（金）まで

内容	視聴数
① 全体映像（全編）	404
② 報告別映像（担当委員会ごとの映像）	249
・ 開催挨拶	45
・ 議会の災害等対策	32
・ 予算決算委員会からの報告	30
・ 総務委員会からの報告	32
・ 民生教育委員会からの報告	38
・ 建設産業委員会からの報告	34
・ 特別委員会からの報告	21
・ 閉会挨拶	17
合計（①+②）	653

※部分的な視聴も含む



動画イメージ①

1 平常時の備え①/2

■「**磐田市議会防災対策会議**」の設置

- 災害等発生時の議会の対応を確認
- 市の災害等への対策の課題を把握、市長へ提言
⇒ 市民の皆さんの生命と財産を守る

「**磐田市議会防災対策会議**」

迅速かつ的確に
対応する備え

動画イメージ②

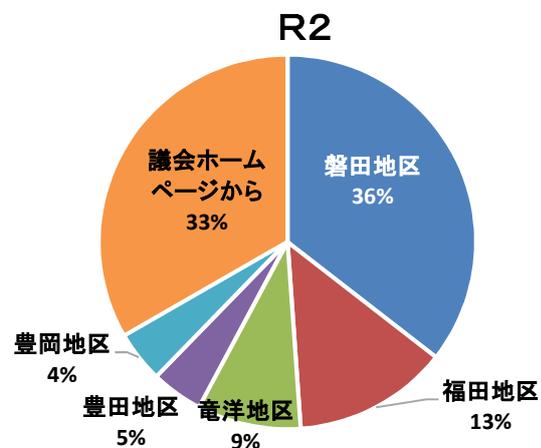
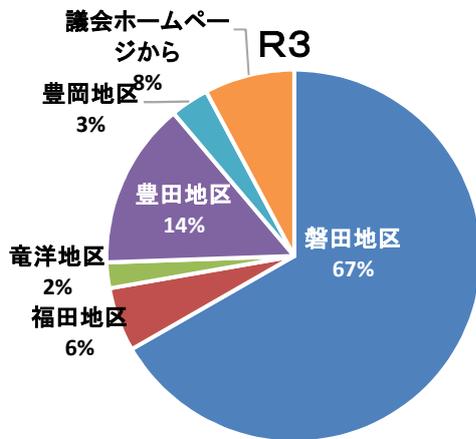
3 アンケート集計結果

※令和3年度は90人の方からご回答いただきました。

● 回答をいただいた施設の地区

分類	R3	R2
磐田地区	60	16
福田地区	5	6
竜洋地区	2	4
豊田地区	13	2
豊岡地区	3	2
議会ホームページから	7	15
計	90	45

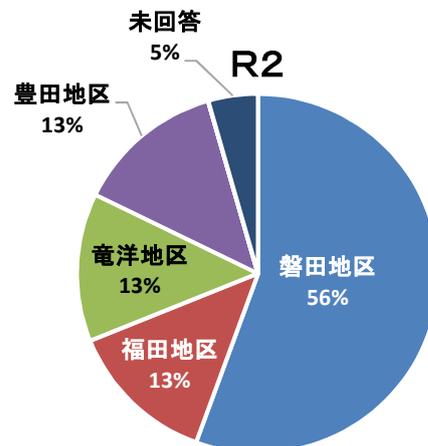
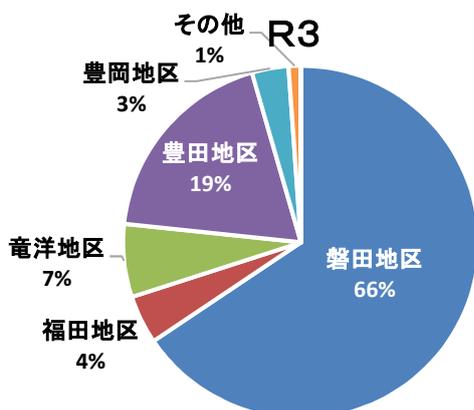
3年度は、2年度比2倍となる90件のご回答をいただきました。
地区別では、磐田地区が2年度比44件増の60件で最多となりました。



問1 お住まいの地区

分類	R3	R2
磐田地区	59	25
福田地区	4	6
竜洋地区	6	6
豊田地区	17	6
豊岡地区	3	0
その他	1	0
未回答	0	2
計	90	45

回答をいただいた施設で磐田地区が2年度比44件増の60件、豊田地区が11件増の13件であったことを反映して、2年度比で両地区にお住まいの方の件数が大きく増加しました。
割合の対比では、値の増減はあるものの、地区間の割合に大きな変化はありませんでした。

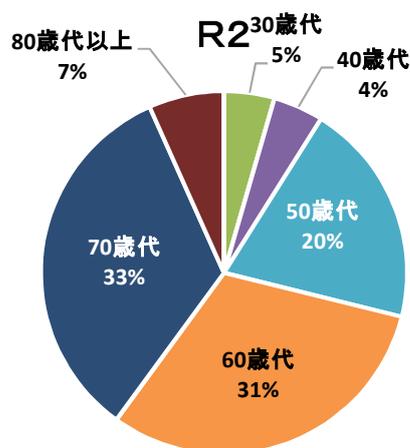
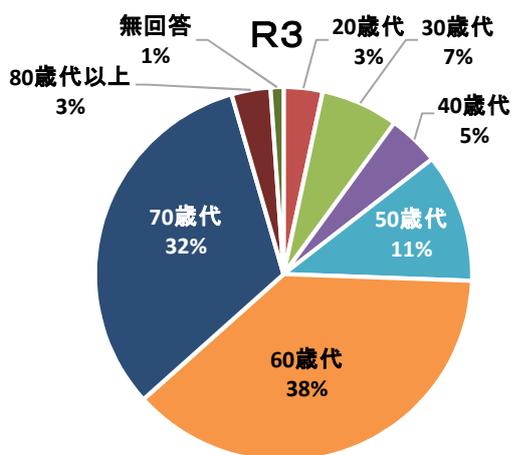


問2 年齢

分類	R3	R2
10歳代	0	0
20歳代	3	0
30歳代	6	2
40歳代	4	2
50歳代	10	9
60歳代	34	14
70歳代	29	15
80歳代以上	3	3
無回答	1	0
計	90	45

3年度、2年度ともに、60歳代と70歳代の方の回答が多い状況に変化はありませんでした。

3年度は、60歳代と70歳代で全体の約70%を占めています。



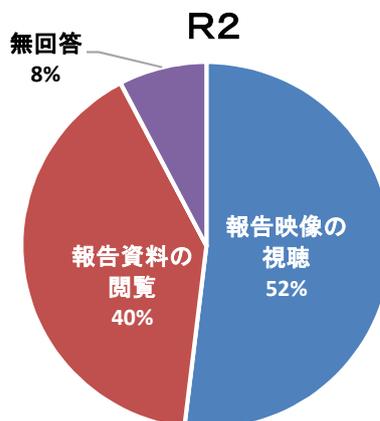
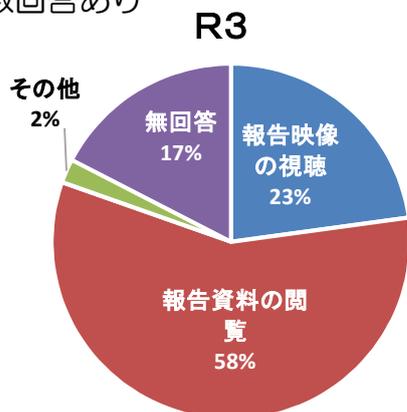
問3 議会報告会について

(1) ご覧いただいた議会報告会の映像、資料について

分類	R3	R2
報告映像の視聴	21	27
報告資料の閲覧	53	21
その他	2	0
無回答	16	4
計	92	52

2年度は約半数が報告映像の視聴をされた方でしたが、3年度は約60%が報告資料を閲覧された方でした。

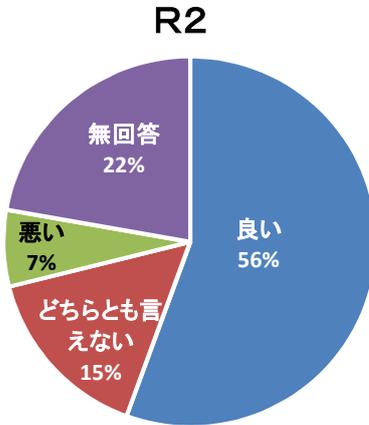
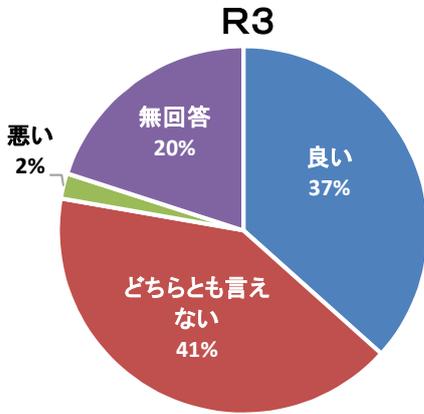
複数回答あり



(2) 映像による議会報告会について

分類	R3	R2
良い	33	25
どちらとも言えない	37	7
悪い	2	3
無回答	18	10
計	90	45

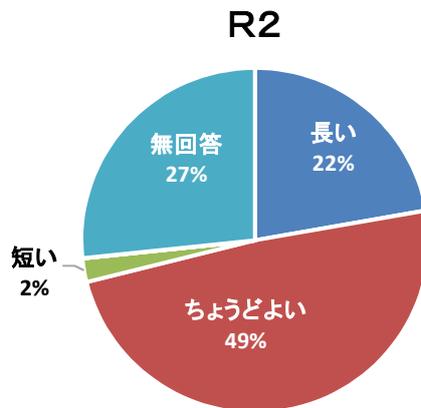
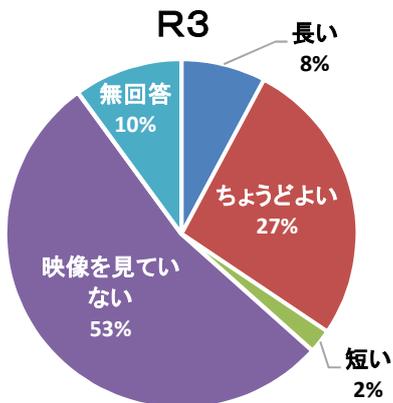
3年度はアンケートに回答されたうちの約60%が報告資料を閲覧された方であったこともあり、「どちらとも言えない」が約40%と、2年度比15ポイント以上増加しました。



(3) 報告映像の時間

分類	R3	R2
長い	7	10
ちょうどよい	24	22
短い	2	1
映像を見ていない	48	0
無回答	9	12
計	90	45

3年度はアンケートに回答されたうちの約60%が報告資料を閲覧された方であったこともあり、「映像を見ていない」が約半数を占めました。



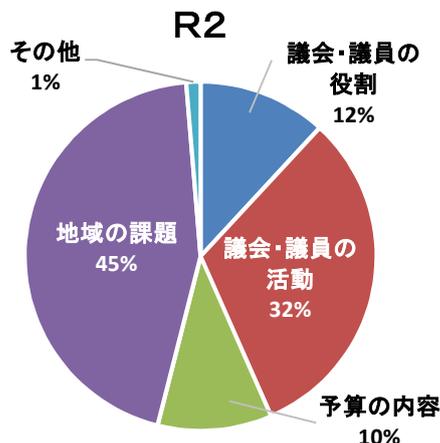
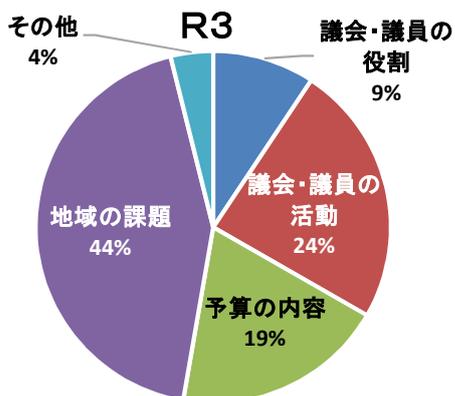
(4) 今後の議会報告会でテーマにしてほしいこと

分類	R3	R2
議会・議員の役割	12	9
議会・議員の活動	31	24
予算の内容	25	8
地域の課題	56	34
その他	5	1
計	129	76

3年度と2年度で割合に動きはあるものの、「地域の課題」「議会、議員の活動」が上位となっています。

3年度では、「予算の内容」が「議会・議員の役割」を抜いて3位となりました。

複数回答あり



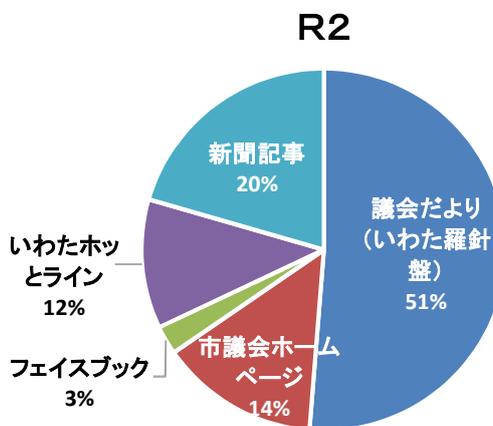
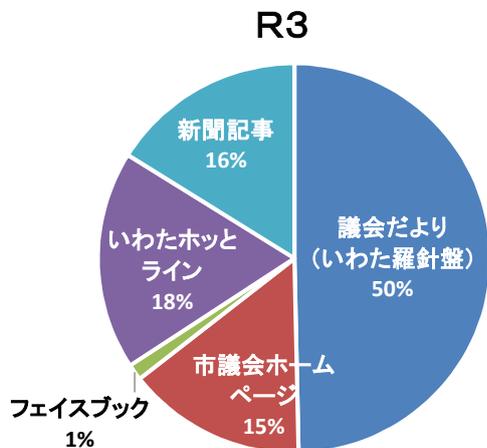
(5) 市議会の活動について情報を得る手段

分類	R3	R2
議会だより(いわた羅針盤)	74	40
市議会ホームページ	22	11
フェイスブック	2	2
いわたホットライン	27	9
新聞記事	24	16
計	149	78

3年度、2年度とも「議会だより(いわた羅針盤)」が約半数となっています。

その他、「市議会ホームページ」「いわたホットライン」「新聞記事」がほぼ同じ割合となっています。

複数回答あり



議会報告会についての感想、ご意見

(感想、ご意見は原文のまま)

■議会報告会について

- 資料に載っていることを読み上げている報告のようですが、資料に書いてあることを手話にして意味があるのでしょうか？
- アンケート回答フォームに「申込み」と書いてあるが、「回答」と記載するのが正しいかと。
- 映像は見ていません。議会だよりしか見た事ありません。
- 誰でも分かる様に伝えてほしい
- 映像による報告会は良い取組です。しかし一方通行です。相方向の取組みもお願いします。アンケートもネットの利用も行ったほうが良かったのではないのでしょうか。
- 議会報告会を視聴しました。広報などに載っている表やグラフを読むだけではなかなか理解しにくいですが、動画の音声聞くことによって理解しやすくなるように感じました。盛りだくさんの内容に関する発表ありがとうございました。

市議会に対してのご質問、ご意見

(ご質問、ご意見は原文のまま)

議会報告会の実施にあわせアンケートを実施したところ、様々のご質問、ご意見をいただきました。ご質問、ご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

■議会・議員活動について

(ご意見)

- ・議員の顔を見る機会が少ない
- ・目に見える活動が見えないです
- ・活動の見える化をもっと積極的に！！

(回答)

ご指摘のとおり、市民の皆さんと議員との「顔の見える」関係は、市民の声を市政に届ける議員として、また行政のチェック機関たる議会の構成員として、本来あるべき姿に違いありません。ご指摘には、議員にとっての、地域での日常活動の大切さを改めて痛感するところです。

なお、市議会は、年4回の定例会と臨時会を開催しています。日程等は磐田市議会ホームページにてご案内をしています。会議は傍聴可能であり、インターネットでの中継を行っています。また、定例会の内容につきましては、全戸配布の市議会だより「いわた羅針盤」に掲載していますのでご確認ください。

また、年1回議会報告会を行い、市民の皆さんへの報告及び意見を聞く場を設けています。しかし、令和2年度から新型コロナの感染拡大の影響もあり、直接議員が参加した報告会を行わず、動画による報告を行っています。新型コロナが収束に向かいましたら、方法を検討し、対面による議会報告会を継続開催していく予定です。

これからも引き続き、広報広聴委員会を中心に活動の見える化について協議してまいりますのでご理解ください。

(ご意見)

議員が多い

(回答)

議員は、市民と行政をつなぐ住民自治の重要な担い手です。市議会と行政に市民の声を届けるとともに、執行機関、事務執行を市民目線で監視し、チェックする重要な役割を持っています。

したがって、議員定数は、市民の多様な意見をより正確に反映させることができる規模が必要です。議員の人数が減れば、議会に市民意見が届きにくくなり、またチェック体制が弱体化します。

その役割に即して議員の定数が条例で定められています。現在の定数は26人で、合併時から8人削減しています。しかしながら、「議員の数が多し」というご指摘を真摯に受け止め、市民の皆さんの要望・意見に耳を傾け、議会の見える化を図るなど、さらに議会改革を進めてまいります。

(ご意見)

「いわた羅針盤」を見ますが、議員提案の議案が審議された様子が皆目見えません。議案に議員提案の案件がのぼることを期待します。

(回答)

「議員が提案できる議案」は、「予算を伴うもの、執行機関の人事など首長（市長）の専権事項に属するもの以外」であり、市が行う様々な予算を伴う事業の議案の提案権は首長（市長）にのみあり、議員が提案できるものは「決議案、意見書決議案、条例議案など」となります。

磐田市議会において、議員提案による議案は、平成27年2月定例会に全議員の発議により提案・審議され、全会一致で可決された「磐田市中心小企業及び小規模企業振興基本条例」があります。意見書は年に数回提出していますが、議員提案の議案はそれ以降無いのが現状です。

議員は、議会定例会において「一般質問・代表質問・質疑・討論等」を行っています。その中でも「一般質問・代表質問」は政策提案の手段として重要な役割を持っています。

皆さんからの多くのご意見、ご提案を十分に盛り込んだ「一般質問・代表質問」をより充実させ、市が提案する議案に反映させることが重要となります。

今後、各種調査研究や議員研修等により議会における提案力を向上させることで、機会をとらえて条例をはじめとした議員による議案を提案していくとともに、「一般質問・代表質問」の質を高め、市民の皆さんの期待に応えられるよう努めていきます。

(ご意見)

一般質問の内容、議案のホームページへのアップが遅い

(回答)

一般質問は前日までには議会ホームページに掲載しています。

また、議案名のホームページ掲載は通常、定例会の1週間前に議会運営委員会が開催された後になります。また当初予算及び補正予算は、上程もしくは市長提案の後速やかに掲載しています。

市民の皆さんに議会活動を知っていただくため、一般質問の内容や議案をホームページに掲載することは大切と考えています。今後も迅速な対応に努力してまいりますので、現状についてご理解ください。

(ご意見)

議会の災害対策

議員にタブレット端末を導入とありますがしっかり使用できるよう指導し、「宝のもちぐされ」にならないよう希望します。

(回答)

タブレット端末は、効率的な情報伝達や議会運営のため、また災害時などに議員全員が一か所に集まらなくても議論ができるよう導入したものです。現在、基本的に各種資料を電子データ化し、行政計画や議会運営等の資料をペーパーレス化し各種会議で使用しています。

タブレット端末は膨大な情報を保存できるので、紙の資料を整理する手間がいりません。検索性も優れているので、関係する様々な資料へのアクセスも早くなりました。そして同時にペーパーレス化によって、紙や印刷コストの削減となり、今後もさらに省エネ効果につながるものと考えています。

また、コロナ禍での三密回避として、研修や会議の打ち合わせ等をオンラインで行うほか、情報伝達の手段としても使用しています。

議会の限られた予算を使って、全ての議員に一人一台のタブレット端末を導入しました。当初は不慣れな議員もありましたが、今では操作に慣れつつ、これからもさらに有効に使われていくものと確信しています。

■総務委員会に関する内容について

(ご意見)

磐田は県内人口 5 番目の市なのに活性化する議論と対策が欠如しているように思える。昨今の磐田市の人口推移を直視してください。

(回答)

市は多面的な切り口で活性化に取り組んでいるものと思いますが、依然として大きな課題であると感じています。特に、人口減少における地域コミュニティ活性化や地域経済活性化は官民連携で取り組んでいかなければならないことであると認識しています。

議会としても、総務委員会において自主的に委員会に関係する事務について調査を行う所管事務調査の項目として「地域コミュニティについて」を取り上げ、調査しており、市へ提案できるよう継続して取り組んでまいります。

(ご意見)

市への要望ですが、デマンドタクシー北部線に午後 3 時を追加して頂きたいと願って居ります。これは帰りの便としての利用に便利と思います。

(回答)

デマンド型乗合タクシーの運営にあたっては、利用者の意見を伺い毎年見直し、その内容は地域公共交通会議で協議されています。

いただいたご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、地域公共交通への対応について、今後も注視してまいります。

(ご意見)

地区の特ちょうとして川のよこにある小学校がひなん所となっていますが、ほとんどの人が山の上の方に（安全）住んでいるのに下に降りることは心配です。

(回答)

避難所は、避難地などとして発災時に一時的に集まる場所と、がけ崩れや延焼の恐れがある場合、地震・風水害及び災害時に家屋が被害を受け居住不能の場合に避難する指定避難所などがあります。避難地などとして発災時に一時的に集まる場所は地域で話し合っていて決めておりますので、自治会等に相談してください。

また、いただいたご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、防災対策への対応について、今後も注視してまいります。

■民生教育委員会に関する内容について

(ご意見)

コロナの通知（取組方針等）は他に先掛けてとても期待出来た。残念ながら実践が伴わなかった（遅いワクチン接種）

何故 70 才としたのかの説明不足！！

(回答)

本市におけるワクチン接種事業は、令和 3 年 4 月 17 日より医療従事者から始まり、令和 3 年 4 月 26 日から高齢者施設入所者・従事者、令和 3 年 6 月 2 日から 70 歳以上、令和 3 年 6 月 27 日から 65 歳から 69 歳、令和 3 年 8 月 15 日から 12 歳以上で行われました。

ワクチンの供給は国から各市町村へ割り当てがあり、思うようにいかなかったところがあります。国からの高齢者向け接種の前倒し方針を受け、ワクチン供給の見通しや接種体制の準備状況から接種計画を検討する中、65 歳以上の高齢者を一度に行うことは不可能であり、接種可能な人数を調整していく必要があったため、年齢により区切ることになりました。

未だかつて経験したことがない大規模な事業で、ご不便をおかけした点もあったと思います。

いただいたご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、今後の円滑なワクチン接種の取組を注視してまいります。

(ご意見)

毎年出生数が減っています。磐田だけでなく全国的に減少は止められない状況ですが磐田市の人口を増やし、世帯を増やす、子どもを産み育てるためには磐田市としての努力はどのような対策が行われていますか？産後ケア事業は、他市町村から比べ磐田市が一番低いサポート態勢です。来年度からのとりくみと、それを周知させるための方法。子育て支援を充実していかなければ今後の磐田市は未来がありません。若い世代にも支援をお願いします。

(回答)

人口減少対策は、この国において、また各自治体において大きな課題です。

本市においても、若者世帯等の移住定住促進、企業誘致による働く場の確保、UIJ ターンの推進などを始め、「たくさんの元気と笑顔があふれるまち 磐田」をまちの未来像として掲げ、様々な政策を行ってきているところです。

子育て支援の充実としては、これまで、待機児童の解消、こども医療費の無料化、子育て支援センターやひと・ほんの庭 にこっと、こども・若者相談センター等の相談できる場の整備などを進めてきているところです。

産後ケア事業については、ご指摘のとおり、利用実績が少ない状況ですので、サービスを必要とする方にとって利用しやすい制度になるよう改善を図っていくこと、周知については、母子健康手帳の発行時の面談でのご案内や産院などでの周知について協力依頼をしていく予定です。

いただいたご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、若い世代をはじめ必要な方へ必要な支援がなされるか、今後も対応を注視してまいります。

(ご意見)

「1人1台の端末について」故障の費用などで問題になっている所もあるようですが磐田は大丈夫？

(回答)

「1人1台の端末について」ですが、令和3年4月から市内小中学校への1人1台端末が配付（小学校低学年は9月から）され、本市における「GIGAスクール構想下の取組」がスタートしました。

教育委員会では、現在も定期的に教育委員会や各学校の担当者が情報共有の場を持ち、改善を重ね、故障対応なども故意に壊した場合以外は、費用負担を求めないなど、一定のルールのもと進めています。

今後も教育委員会、各学校が連携を図りながら、今まで培ってきた磐田の教育を進め、IT技術を生かし本市の新しい教育をつくっていく考えですので、議会としても、GIGAスクール構想化の取組について、教育委員会の対応を今後も注視してまいります。

■建設産業委員会に関する内容について

(ご意見)

ある議員さんが「磐田には道の駅」がないなあと言っていた記事を読んだことがあります。今後の計画の中には入っているのでしょうか…？

(回答)

現在、第2次磐田市総合計画後期基本計画の作成中ですが、今のところ道の駅の計画はありません。

ご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、道の駅などの施設整備について、今後も対応を注視してまいります。

(ご意見)

磐田南部地域では網掛農地（農振地域）がやたらに多いが市が農地利用を積極的に考えているとは思えず、地主としても大変困っている現状、特に南部地域は150号線、磐田竜洋線等、市の施設が無く用途地域の見直しも含め検討してほしいものです！もっと県道沿いは農地変更を可能にしてほしい。

(回答)

市の農業振興地域と農地転用制度については、昨年末に、議会で第2次磐田市総合計画後期基本計画（案）に対する提言書をまとめた中で、地域の限定はしていませんが、「計画的な土地利用の推進に対し、より柔軟に対応していく」と、検討の必要性について提言しているところです。

なお、ご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、農業振興地域制度の運用について、今後も対応を注視してまいります。

(ご意見)

河川愛護活動報奨金として各自治会へ配付されておりますが下水道工事の完了した自治会では、活動自体意味ないかと思えます。今後の活動としては、自主活動もしくは、廃止を検討されてはいかがでしょうか？

(回答)

下水道工事完了後も雨水は各家庭から排水路を通じて河川等へ流れていることから、下水道が整備された後も、河川愛護活動は重要であると認識しています。

なお、ご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、河川愛護活動について、今後も対応を注視してまいります。

(ご意見)

市民生活の安定・安心の確保

ぼう僧川の堤防の強靱化を実施して洪水の危険を減らして下さい。

(回答)

日常生活を営むにあたり、生活の安定・安心は極めて重要な要素となります。ぼう僧川に限らず強靱化を実施すべき箇所がありますが、財源には限りがあることから、国・県・市それぞれの所管箇所について順位付けして実施していくことになると思われま

す。なお、ご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、市民の皆さんの安全・安心への対応について、今後も注視してまいります。

(ご意見)

気賀坂の木→上部を早く切ってほしい。要望提出してあります

(回答)

樹木の枝の処置についてですが、樹木の管理が追い付かず、危険な状態となっている箇所が所々見受けられるところです。要望を提出されたとのことですが、処置については優先度を判断し、順次実施していることをご理解ください。

なお、ご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、危険箇所の解消への対応について、今後も注視してまいります。

(ご意見)

空き家対策！高齢化が進み、核家族化の現象にあります。地域でも近所に数件の空き家があります。子どもさんが、管理しているお宅はよいけれど、管理できないと防犯や火災の心配があります。どうか、法の見直しを必要とするならば早急に行い、対象件数の少ないうちに手を打っておいて下さい。

(回答)

空き家対策への対応は、本市だけでなく近隣市町でも喫緊の課題であると認識しております。

危険な空家については市で指定し、対応を進めています。

また、議会として第2次磐田市総合計画後期基本計画（案）に対する提言書を昨年末にまとめましたが、その中で「空き家を避難所にしていくことも一考の余地がある」との意見も付けています。

なお、ご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、空き家対策について、今後も対応を注視してまいります。

(ご意見)

- ・市街化調整区域をはずしてほしい。人口減をふせぐいみで。
- ・人口減少のため市街化の拡大を考えてほしい

(回答)

市では、人口減少に対応したコンパクトなまちづくりを進めるため、平成30年に磐田市立地適正化計画を定めました。この計画をもとに、人口減少を踏まえた住環境の整備をしていき、公共施設や商業施設などを含めた住環境を考えながら、将来の土地利用を検討していくこととなります。

なお、ご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、土地利用の対応について、今後も注視してまいります。

(ご意見)

意見です。市の環境課には意見が何件もいってると思いますが
西新町の丸山古墳（古墳の北東の角地について）

北東の角地は、橋本衛生社と隣接しています。衛生社側はネット状になっており景観が悪いです。

なので、古墳側に木を植えてほしいです。東側はスクールゾーンになっているので子供達の目に入る景観、また、観光客の為にも検討をお願いしたいです。磐田市総合計画特別委員会は、住民の声を拾ってよい町づくりとうたっておりますがなかなか市議会まで届きません。届く方法を広報で提示してほしいです。

(回答)

1点目の「古墳の北側に木を植えてほしい」とのことですが、住環境や景観は生活にあって重要な要素ですが、対応にあたっては様々な要素を検討したうえでのことになると思われます。このご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、景観への対応について、今後も注視してまいります。

また、2点目の「住民の声市議会に届く方法の提示」では、具体的に、市への要望の制度として「陳情」や「請願」などがあげられます。「陳情」や「請願」は議会日より「いわた羅針盤」などでお示ししているところですが、今後はさらにわかりやすい広報に努めてまいります。

(ご意見)

歩道の植え込みの草刈りや剪定作業を見掛け、大変有り難く感じますが、終わった後の様子・結果を見ていつもガッカリしてしまいます。植込みの間や路側帯の草がそのままの 때가大半です。ゴミもそのままです。発注の見直しが必要です。

(回答)

歩道の植え込みの草刈りや剪定作業は、高所や低所の剪定、除草を組み合わせ発注していますので、様子によっては除草作業を見送ることもあります。そのため、状況によっては、剪定後に草が残っていることがあると思われます。

なお、今回のご意見につきましては市の担当部署へお伝えするとともに、議会としても、歩道の植込みの草刈りなど環境管理への対応について、今後も注視してまいります。

4 議会報告会をふりかえって

1 はじめに

磐田市議会では、市民に開かれた議会をめざし、平成24年度より議会報告会を開催しています。

議会報告会は市民の皆様の率直な意見や要望を直接聞く有効な手段の一つです。

新型コロナウイルスの感染症が世界で猛威を奮い、本市においても感染者が広がる中で、令和3年度の議会報告会をどのように行うかの議論をまず始めました。

当初は、感染症の状況により会場開催とするのか、昨年と同様の映像配信とせざるを得ないか、また、両方並行の準備を行うのかの議論となりました。

議論する中、新型コロナウイルスの感染が拡大し、市民との対面式が基本である会場開催を断念し、やむなく昨年度に続き映像配信により開催すると決定しました。

以下、令和3年度の議会報告会の主な取組を記します。

2 議会報告会の主な作業と結果

(1) 映像配信を11月19日に決定

(2) チラシ・資料作成

(3) 市民への周知方法

- ・市議会ホームページ、いわた羅針盤に記載
- ・チラシ作成と自治会を通じた全戸配布、支所や交流センターにチラシ・資料置き
- ・フェイスブック、いわたホットラインとLINEでの配信

(4) 映像配信録画（手話通訳映像挿入）

(5) 実際の報告時間

議会の災害等対策（6' 01）、予算決算委員会（10' 00）、総務委員会（5' 21）、民生教育委員会（4' 54）、建設産業委員会（8' 08）、特別委員会（6' 44）

(6) 映像配信後の視聴者数結果（全体で653件）

(7) 市民アンケートの実施 アンケートの回収

集約結果（回答90人、詳細は議会報告会実施報告書参照）

(8) 市民アンケート掲載の意見

集約結果（意見等23件、詳細は議会報告会実施報告書参照）

(9) アンケート記載の意見等に対する回答

いわた羅針盤掲載の回答（議会報告会実施報告書参照）

3 まとめ

令和4年1月の報告書作成まで、議会報告会実施に伴う会議を延べ11回開催し、真摯な議論を重ねました。

議論を重ねた中で、今可能な方法により議会報告会を実施しましたが、今回のアンケート結果から、議会の活動に関心をもつ市民が少ないことを改めて認識させられました。

そのため、今回の報告会を顧み、市民に開かれた議会のため、より一層議会の見える化に取り組み、議会の活動に関心を持っていただく必要があると感じています。

このページは、空白です。

参 考 资 料

このページは、空白です。

映像配信による

磐田市議会 議会報告会



磐田市議会報告会 🔍



©磐田市

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2年度に引き続き、映像配信により議会報告を行います。

ぜひご覧いただき、皆さんの声をお寄せください。

映像配信をもとにした資料も磐田市議会ホームページに掲載しますので、こちらをご覧ください。

日程

令和 **3** 年 **11** 月 **19** 日 (金) 配信開始

内容

- 議会の災害等対策
- 各委員会からの報告

*総務委員会 *民生教育委員会 *建設産業委員会
*予算決算委員会 *磐田市総合計画特別委員会

視聴方法

磐田市議会ホームページの、「議会報告会」のページからリンクをクリック

報告資料は、議会事務局、各支所、各交流センターでも閲覧することができます

皆さんのご意見等をお寄せください

報告内容へのご質問やご意見を、以下の方法によりお寄せください。

■回収箱に投函する

裏面のアンケート用紙にご記入いただき、議会事務局、各支所、各交流センターの回収箱に投函してください。

■磐田市議会ホームページから送信する

磐田市議会ホームページの投稿フォームに入力いただき、送信してください。

受付期間：令和3年11月19日(金)から令和3年12月3日(金)まで

※ご意見等への個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

主催

磐田市議会

問い合わせ

磐田市議会事務局

電話

0538-37-4822

FAX

0538-37-4845

E-mail

gikai@city.iwata.lg.jp

議会報告会アンケート

今後の議会活動や議会報告会の参考にさせていただきますので、アンケートにご協力ください。恐れ入りますが、あてはまるものにチェックマーク（☑）でご記入ください。

お住まいの地区	<input type="checkbox"/> 磐田地区 <input type="checkbox"/> 福田地区 <input type="checkbox"/> 竜洋地区 <input type="checkbox"/> 豊田地区 <input type="checkbox"/> 豊岡地区 <input type="checkbox"/> その他（市・町）
年齢	<input type="checkbox"/> 10 歳未満 <input type="checkbox"/> 10 歳代 <input type="checkbox"/> 20 歳代 <input type="checkbox"/> 30 歳代 <input type="checkbox"/> 40 歳代 <input type="checkbox"/> 50 歳代 <input type="checkbox"/> 60 歳代 <input type="checkbox"/> 70 歳代 <input type="checkbox"/> 80 歳以上
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性

■ご覧になった議会報告会の映像、資料

報告映像の視聴 報告資料の閲覧 その他（ ）

■映像による議会報告会の取組

良い どちらとも言えない

悪い（理由： ）

■報告映像の時間

長い ちょうどよい 短い 映像を見ていない（報告資料のみ）

■今後の議会報告会でテーマにしてほしいこと（複数回答可）

議会・議員の役割 議会・議員の活動 予算の内容 地域の課題

その他（内容： ）

■市議会の活動について、情報を得る手段（複数回答可）

議会だより（いわた羅針盤） 市議会ホームページ フェイスブック

メール配信サービス「いわたホッとライン」 新聞記事

その他（内容： ）

■議会報告会の内容や市議会に対してご質問、ご意見がございましたら、ご記入ください

ご意見等への個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

いただいたご質問、ご意見とアンケート結果については、議会ホームページと議会だよりに掲載する予定です。

磐田市議会

令和3年度 議会報告会実施報告書

発行日：令和4年3月1日

編集：広報広聴委員会

委員長 虫生 時彦

副委員長 鳥居 節夫

委員 八木 義弘

小栗 宏之

江塚 学

芥川 栄人

根津 康広